

1 調査名称：向日市総合都市交通体系調査

2 調査主体：京都府向日市

3 調査圏域：向日市管内

4 調査期間：平成25年度～平成28年度

5 調査概要：

本市の都市計画道路は、11路線23.4kmが決定されているが、整備率は概整区間を含めても約31%と極めて低い状況であり、市のまちづくりにおける最大の課題となっている。

この道路網は、昭和42年に当初決定され、その後、都市構造や、環境保全に対する市民意識、社会情勢など様々な面で変化している。

そのような背景の中、平成16年度から見直しに着手し、平成21年度には、将来道路ネットワーク（見直し構想案）、平成22年度には都市計画マスタープランと、都市計画道路変更を目指した案を公表したが、住民や関係自治体から理解を得られないまま、現在に至っている。

一方で、平成25年4月の京都第二外環状道路の供用や、市北部の新市街地の整備により、向日市および周辺の交通状況が大きく変化しようとしている。

このような状況を踏まえ、現況の再確認、将来交通量の予測、課題整理などを行い、都市計画道路網の見直しを行うものである。

I 調査概要

1 調査名 向日市総合都市交通体系調査

2 報告書目次

1 業務概要

2 見直し方針の検討

2－1 道路配置

2－2 道路幅員

3 路線の再検討

3－1 基本的な考え方

3－2 幅員構成要素の考え方

3－3 各路線の幅員構成（案）

4 検討対象路線の概算事業費

4－1 基本的な考え方

4－2 検討対象路線の概算事業費

5 関係機関協議用図面作成

5－1 平面計画検討

5－2 道路計画

6 駅前広場の再検討

6－1 検討概要

6－2 検討フロー

6－3 現況把握

6－4 上位計画の整理

6－5 駅勢圏人口及び将来の乗降客数

6－6 駅前広場面積の算定

6－7 駅前広場整備計画（案）の作成

3 調査体制

該当なし

4 委員会名簿等：

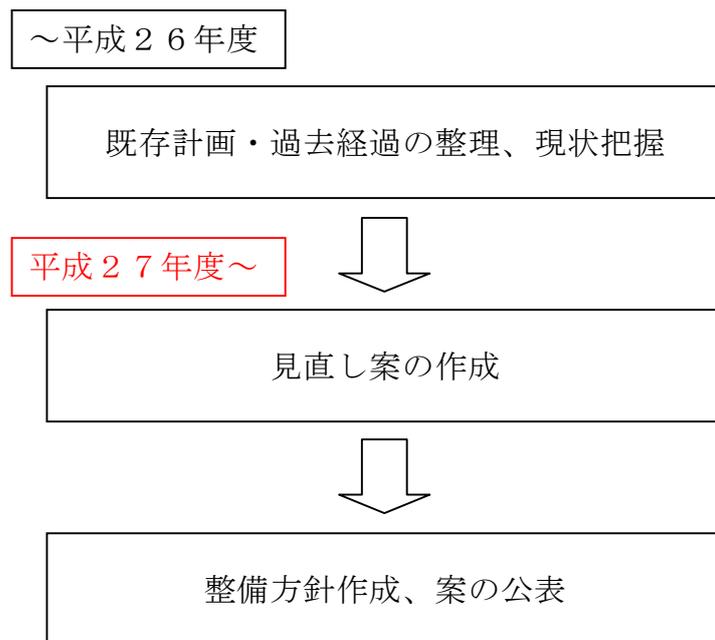
該当なし

II 調査成果

1 調査目的

近年の社会状況や土地利用状況などの変化による本市の目指すべき都市像との整合を図るべく、まちづくりの基盤となる現在未着手の都市計画道路について、計画の存続、廃止等の検証・検討を行い、本市の地域特性、防災機能等を加味した都市計画道路の見直し素案の検討を行う。

2 調査フロー



4 調査成果

本調査成果は、本市内部における検討に関する情報であって、公にすることにより市民の間に著しい混乱を生じさせ、又は特定の者に不当に利益を与え若しくは不利益を及ぼすと認められるため、非公開とする。